

2021年8月23日

日建連表彰2021「BCS賞」「土木賞」全26件を決定

日建連表彰は、建築分野の「BCS賞」と土木分野の「土木賞」により構成する新たな表彰制度として2019年に創設した制度です。第2回目となる日建連表彰は、1月より募集を開始し、BCS賞には74件、土木賞には62件の応募がありました。

2月より各分野において選考を進め、8月20日の日建連表彰委員会(委員長：押味至一(鹿島建設 会長))において、BCS賞の受賞作品を15件、土木賞の受賞プロジェクト・構造物を11件(特別賞1件を含む)、合わせて全26件を決定いたしました。

表彰式は下記日程で開催予定です。

【 日建連表彰 】

第62回BCS賞	15件
第2回土木賞	11件 (特別賞1件を含む)

※ 詳細は別紙を参照

【 表彰式 】

日時：2021年12月9日(木)

表彰式 : 16:00~17:30 (予定) ※時間変動の可能性あり

祝賀会 : 17:30~19:00 (予定) ※開催の可能性も含めて未定

会場：The Okura Tokyo (東京都港区虎ノ門2-10-4)

※ 開催時間、方法、祝賀会の開催有無については、
新型コロナウイルスの感染状況を見て10月頃に判断

以上

(本件に関する問い合わせ先)

一般社団法人 日本建設業連合会(東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館8F)

表彰式等：企画調整部(泉澤：03-3553-0703)

BCS賞：建築部(高橋・染谷：03-3551-1118)、土木賞：土木第一部(小川：03-3552-3201)

■日建連表彰2021 受賞一覧

(五十音順)

第62回BCS賞

有明体操競技場 (東京都江東区)
大宮区役所・大宮図書館 (埼玉県さいたま市)
軽井沢風越学園 (長野県北佐久郡軽井沢町)
The Okura Tokyo／大倉集古館 (東京都港区)
渋谷ストリーム (東京都渋谷区)
昭和電工(大分県立)武道スポーツセンター (大分県大分市)
大丸心齋橋店本館 (大阪府大阪市)
高崎芸術劇場 (群馬県高崎市)
知立の寺子屋 (愛知県知立市)
日本橋室町三井タワー／ 日本橋スマートエネルギープロジェクト (東京都中央区)
東大阪市文化創造館 (大阪府東大阪市)
福田美術館 (京都府京都市)
松原市民松原図書館「読書の森」 (大阪府松原市)
ミュージアムタワー京橋 (東京都中央区)
ミライo n (長崎県立長崎図書館、 大村市立図書館、大村市歴史資料館) (長崎県大村市)

第2回土木賞

大分川ダム建設工事 (大分県大分市)
外環自動車道 京成菅野アンダーパス工事 (千葉県市川市)
鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事 (愛媛県大洲市)
国道325号 阿蘇大橋上下部工事 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村)
首都高速1号羽田線 東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業(I期) (東京都品川区)
新名神高速道路神戸ジャンクション 建設プロジェクト (兵庫県神戸市)
中央自動車道(特定更新等) 弓振川橋床版取替工事 (長野県諏訪市)
東京外環自動車道 大和田工事 (千葉県市川市)
阪神高速道路 西船場JCT 下部その他工事 (大阪府大阪市)
北薩横断道路 北薩トンネル出水工区 (鹿児島県出水市)
- 特別賞 -
常磐橋修復事業 (東京都千代田区)

■日建連表彰2021 選考過程及び概要

－ 第62回BCS賞 －

- 第62回BCS賞には広く25都道府県から74件の応募がありました。建物用途は複合施設(15件)が最多でそのほか、事務所ビル、官公庁舎等施設(各8件)、研究所(7件)、学校施設、スポーツ施設(各6件)、ホテル(5件)、劇場(3件)、病院・医療施設、宗教施設、歴史的建造物(各2件)、文化会館、図書館、商業施設、美術館(各1件)などとなっています。
- 今年も、コロナ禍の影響で応募作品の運用も通常と異なる中で、応募者の方々に例年以上にご協力をいただいていたの現地調査となりました。
- 現地での建築主、設計者、施工者等からの実際の作品に即した説明や質疑を踏まえ、選考委員全員による合議での厳正かつ詳細な審査が行われ、東京・大阪の大都市圏以外の地域の7件を含む、多彩な用途の受賞作品15件が選ばれました。
- BCS賞の特色の一つは建築主・設計者・施工者による「三位一体」を重視するところがありますが、今回も、建築主の熱い想いを設計者・施工者がその技術や叡智を結集して具現化した作品が多くありました。また、超高層建築物、環境配慮型施設が多く選ばれております。
- 特に、周辺地域の特性の活用、自然条件や先進技術を活用したエネルギー消費の抑制、環境負荷低減を目的に木材を多様化した建築物など、多岐にわたる素晴らしい建築作品が選ばれました。デザインや機能が優れていることに止まらない、建築文化の高まりを感じさせる意欲的な作品が揃っています。

－ 第2回土木賞 －

- － 「首都高速1号羽田線 東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業(I期)」など11件 －
- 第2回となった土木賞は、昨年度の応募件数(58件)を超える62件の応募があり、日建連表彰土木賞が広く認知されたことが伺えます。このたび選考委員会の厳正な選考を経て、11件(特別賞1件を含む)を決定しました。
- 選定された受賞案件は、供用中の高速道路への影響を抑え工程短縮に資する事業(首都高速1号羽田線東品川栈橋・鮫洲埋立部、中央道弓振川橋、新名神神戸ジャンクション)、災害復旧として困難な自然環境下での早期完成の社会的要請に応えた施工(阿蘇大橋)、住宅密集や鉄道交差等による厳しい制約条件を克服した施工(外環京成菅野アンダーパス、外環大和田、阪神高速西船場ジャンクション)、ICTの全面的な活用による生産性向上に資する施工(大分川ダム)、運用中のダムに洪水吐を新設する再開発事業(鹿野川ダム)、ヒ素を含む大量湧水に対応した施工(北薩トンネル)、近世由来の石造アーチ橋修復事業(常磐橋)など、各案件の様々な課題を克服するための施工プロセスが評価されました。
- 例えば「首都高速1号羽田線 東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業(I期)」は、50年以上が経過した老朽化著しい1.9kmの区間を、一日7万台の交通を遮断せず供用下で行う大規模更新事業であり、プレキャスト化の大幅採用や工程短縮等の各種工夫が高く評価されました。
- また、特別賞の「常磐橋修復事業」は、東日本大震災により損傷を受けた近世由来の空石積構造を持つ石造アーチ橋の修復事業であり、約8年にわたり円滑なアーチ軸力伝達面の形成や石材の再利用、複雑な形状の水切石復元など、歴史的土木建造物の保存継承とともに、現在の都市空間に生きるインフラとして再生させたことが特別賞に値するものとして評価されました。